

令和4年5月10日

各位

公益社団法人日本学生陸上競技連合
副会長兼専務理事 永井 純

FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)
開催再延期について

平素は、日本学生陸上競技界発展のため格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、来る6月26日(日)から7月7日(木)の期間において、中国・成都で開催予定の標記大会について、JOCからFISUの通知文書とともに開催延期のご連絡がありましたのでお知らせいたします。

関係者の方々には多大なご迷惑をおかけする事となりますが、何卒ご理解賜りたくお願い申し上げます。

【FISUからの通知文書の和訳(JOC)】

FISUと2021年成都大会組織委員会、その他の関係者が幅広く協議した結果、FISU World University Gamesを2023年まで延期することが決定されました。FISU大会は当初、2021年夏に予定されていましたが、2020年東京オリンピックの延期に伴い、再延期が決定されました。

「2021年の成都大会の延期は簡単な決定ではありませんが、大学アスリートにとって正しい決定です。彼らの福祉は、常に私たちの最優先事項です。FISU会長代理のレオンツ・エデルは、「コンディションの不確実性が続いているため、日程変更は賢明な選択であり、多くの国立大学スポーツ連盟がすでに計画を変更していました」と述べています。「FISU世界大学対抗戦にチームを参加させることは大きな責任であり、FISUはこの決定により、来年、できるだけ多くの大学選手が参加できるようになると確信しています」と述べています。

今年、国際的な大学スポーツが再開され、FISU世界大学選手権が数多く開催されています。

「FISUは、これまで成功を収めてきた、1年に1回世界大学選手権を開催し、その後FISU世界大学大会を開催するというリズムに戻りたいと思っています。これは、FISUが深く感謝している世界中のホストファミリーの皆様の献身的な努力の賜物です。成都の組織委員会は、招致に成功して以来、準備作業に多大な努力を払ってきました。FISUは、成都組織委員会の努力に感謝します」とエデルは続けました。

2023年のFISU世界大学対抗戦冬季大会はレークプラシッドで、2025年の開催地は冬季がトリノ、夏季がライン・ルールで予定されています。2027年FISU世界大学対抗戦の開催地は、今年後半に決定する予定です。

このような状況下で2回目の開催延期を余儀なくされたことは残念ですが、FISUはこの決定により、最高の条件で大会が開催されることを確信しています。事務局では引き続き、皆様のご質問にお答えしてまいります。

【FISU公式HP(URL) : 大会再延期のお知らせ】

[Chengdu 2021 FISU World University Games Rescheduled For 2023](#)